

第6次総合計画策定に係る新たな将来像について

●はじめに

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

この将来像に代わる新たな10年後の将来像を考える必要があります。

将来像を考えるうえで大切にしようと考えていることがあります。

それは将来を担う子どもたちの意見を反映させることです。

これまで、「しろいの未来作戦会議」と称して子どもたちから理想の白井市についてワークショップ形式で意見を伺いました。そこから出た意見を生かして将来像を考えたいと考えております。

●将来像とは

「将来像」とは以下の2つの性質があると考えております。

- ①将来のまちの姿（目標）の表現
- ②スローガン

①将来のまちの姿（目標）の表現とは

第6次総合計画開始から10年後（2035年）の白井市のあるべき姿を表現したものです。

第6次総合計画では、下記6つのテーマに重きを置く予定です。下記6つのテーマを推し進めた10年後の白井市はどのようなになるべきか、親しまれる表現が求められます。

第6次の6つのテーマ（案）	みらい作戦会議の関連ワード（抜粋）
・新しい産業が栄えるまち	最先端
・特色ある育ち学びがあるまち	楽しめる イベント
・若い世代が定住するまち	にぎやか おしゃれ 活気 戻りたくなる 来たくなる 実家 若い 家族
・災害（天災・人災）に強いまち	安心 治安
・既存の自然と農業を生かすまち	自然 梨 田舎 特産 SDGs
・交流し支え合い暮らすまち	関わり 集まれる 老若男女 過ごしやす い 笑顔の輪

②スローガンとは

組織や団体が持つ活動の精神や目的を、簡潔かつ印象的な言葉にしたものです。

スローガンの役割として、「チームの方向性の共有」、「モチベーション向上」、「ブランドイメージの形成」「理念の浸透」などが挙げられます。

①②の性質をすべて満たしたものが理想ですが、他自治体においては①や②のみとなって

いる将来像が多々あります。また、サブタイトルを設けて①と②を別々に表現するという手法もあります。

●将来像の決定方法

- ・将来のまちの姿（目標）を表現したものをメインの将来像として掲げ、スローガン要素を兼ね備えたものをサブスローガンとして別に掲げる。
- ・将来像、サブスローガンともに、ワークショップで得た要素や市長の意向を散りばめていくつか似たような候補を作成する。
- ・候補を市内小中学生にタブレットで投票してもらい決定する。